

No.172

2013.
9.18

岐阜の博物館

編集兼発行

〒501-3941 関市小屋名
(岐阜県百年公園内)
岐阜県博物館内
岐阜県博物館協会
TEL 0575-28-3111

第61回全国博物館大会/岐阜大会に向けて

大会実行委員長 後藤 弘之(岐阜県博物館長)



棚橋源太郎先生をご存じの方も多と思います
が、日本博物館協会の「棚橋賞」。
県博物館協会の「棚橋記念賞」。
いずれも棚橋源太郎先生の功績を
たたえるために設けられた

ものです。

棚橋先生は博物館事業促進会(現在の日本博物館協会)の創設や博物館法の制定に尽力され、日本の博物館界に多大な功績を残された方です。しかも、岐阜県北方町の出身で、わが郷土が誇る偉大な先人なのです。

そして、本年度の第61回全国博物館大会/岐阜大会(11/7~11/8)は、棚橋先生の故郷であるここ岐阜の地において開催されることとなり、博物館関係者としては大変喜ばしいことです。

この機会に改めて棚橋先生のご功績について、全国大会に参加される皆さんに是非とも知っていただきたいと思っています。

棚橋先生の業績については、大会一日目の基調講演において、明治大学の矢島國雄教授により「棚橋源太郎の見た夢—博物館の未来を見据えて—」というテーマで講演をしていただく予定ですが、県博物館所蔵の『棚橋源太郎—博物館にかけた生涯』(宮崎 惇著 平成4年発行)を参考に、少しでも触れることとします。

棚橋先生は、前述のとおり岐阜県北方町出身であり、1917年(48歳)東京教育博物館(東京博物館の前身。現在の国立科学博物館)の館長となり、その後1924年に退官されますが、欧

米への留学経験などから日本の博物館事業が遅れているので、外国のように博物館協会、連盟の活動が必要だと考え、1928年(昭和3年)博物館事業促進会の創設に中心となって尽力されました。

そして、促進会の活動として

「博物館令(法)に関すること」

「我が国に建設する博物館の種類、規模、配置に関すること」などを挙げ、

広報として「博物館研究」の発行などに取り組みされました。

翌年には第1回博物館並びに類似施設主任者協議会(後の全国博物館大会)を開催し、

- 一 早く博物館法を制定すること
- 二 道府県には必ず一つ以上の公立博物館を設けること。
- 三 国定教科書に博物館の一課を加え、師範学校の教科の中へ博物館の利用の一項を加えること。

など7項目をまとめ文部省に答申しています。

その後、1931年(昭和6年)には(社)日本博物館協会専務理事に就任されています。

そして、1951年(昭和26年)棚橋先生が82歳の時にようやく博物館法が制定されました。

今回の岐阜大会では、基調講演、シンポジウム、分科会を通して棚橋先生が追求した理想の博物館像の今日的意味を探ります。

多くの会員の皆さんの参加をお待ちしています。

(*第61回全国博物館大会/岐阜大会の日程等の詳細につきましては、4頁をご覧ください。)

平成25年度 岐阜県博物館協会総会・県民文化講演会報告

期 日：平成25年5月28日（火）
場 所：岐阜県博物館
参加人数：95名（委任状を含む）

【総会】

平成25年度岐阜県博物館協会総会が、平成25年5月28日に岐阜県博物館ハイビジョンホールにて開催されました。

若宮多門会長の挨拶に始まり、平成25年度の功労者として下記の方が表彰を受けられました。

- ・みつばちの家 理事長 中村正 様
- ・笠松町歴史民俗資料館 笠松町嘱託職員 後藤とし子 様
- ・光ミュージアム 学芸員 今泉珠実 様



次に来賓を代表して、岐阜県教育委員会教育長 松川禮子様よりご祝辞を頂きました。

議事は、平成24年度事業報告と収支決算報告、平成25年度事業計画と収支予算が原案の通り承認されました。

平成25年度の主な事業は、全国博物館大会の開催のほか、専門委員会等の開催、県民文化講演会の開催、研修・研究会の開催、機関誌の発行、地域博物館活性化事業の推進、東海大会等への参加となっています。

【県民文化講演会】

引き続き行われた講演会について簡単に報告します。

昨年末、渋谷のBunkamuraザ・ミュージアムで開催され大盛況だった「白隠 HAKUIN 禅画に込めたメッセージ」展（2012年12月22日～2013年2月24日）を

山下裕二氏（明治学院大学教授）と共同監修した芳澤勝弘氏（花園大学国際禅学研究所教授・副所長）を招き、岐阜県にも縁の深い白隠慧鶴（1685-1768）についての講演会「白隠 禅画を読み解く」が開催されました。近年、画期的な白隠禅画論を続々発表している注目の講師によるおもしろくて為になる講演でした。



飄々とした白隠さんの禅画は、一見、おもしろおかしく、人気があります。しかし、講師は「何かを伝えるために書かれているのだから、文字（讃）も読み込んで、正しく読み解くべきだ」といいます。そして、「ただ見ておもしろい絵」として陳列するだけでなく、「博物館は正しく読解したメッセージを伝える義務がある」という言葉は、博物館関係者の多い聴衆に厳しく受け止められたと思います。元になった経典や故事、伝統的な仏画、さらには江戸時代の風習などを手がかりに絵を読み解く講師の卓見が「楽しい絵」にこめられた白隠の真意をつぎつぎに明らかにしていく痛快なお話で、瞬く間の90分でした。

中でも、時間切れのため中仕舞の後のおまけだった最後の作品解説が、含蓄深く非常に印象的でした。「机に向かう観音菩薩」に忍ばせた白隠が伝えたかった「仏教の真理は大自然に偏満するんだよ」というメッセージに、会場は深い感動と理解のため息に包まれたのでした。

（岐阜県博物館 南本有紀）

平成25年度功労者表彰者の声

公益財団法人みつばちの家

理事長 中村 正



岐阜県は近代養蜂発祥の地であり、本場として明治中期以降、わが国養蜂界のリーダーとしての役割りを果たしてきました。その岐阜県にあって「みつばちの家」は、

名実共に日本の養蜂のセンターとして機能し、シンボルとなっています。

昭和56年に開館以来30年以上経ち、老朽化も目立ち始め、リニューアルが必要となってきましたが、この度の公益法人改革において、今年3月に「公益財団法人」の認可を受けることが出来たのを機に、次のステージへの飛躍の時が来ました。

養蜂産業は、蜂蜜やローヤルゼリー、プロポリス等のみつばち生産物だけでなく、ポリネーション（花粉の交配）という大きな社会性を持つ事業で、世界的にも人類の健康・福祉に大いに役立つものとして益々発展しています。

小生が理事長職を拝命して14年目、この度の受賞を糧に、みつばちの「勤労・平和・友愛」の精神を広く社会に発信する拠点として、展示だけでなく青少年教育の場としての機能をさらに高めていきたいと思っています。

笠松町歴史民俗資料館

笠松町嘱託職員 後藤 とし子



笠松町歴史民俗資料館に勤務したのは15年前です。思い返すと、笠松町職員として議会事務局・保険年金課・税務課・建設課・松枝支所と一般職で勤務し、平成10年

に歴史民俗資料館開設と同時に勤務を命ぜられたのが始まりです。3年間勤務後いったん退職し、文化や歴史に無頓着でまったく興味がなかった私ですが、嘱託員として現在に至っています。

展示場面積が狭いことから、常設展示だけでは多くの来館者が望めないことから、年間7回の企画展を計画し、予算の乏しい中でも実施してきました。知識や経験もなく、休日を利用して近隣の資料館・博物館・文化財を巡り歩き、企画展の内容を考える毎日でした。また、予算が十分ではなく、「手づくり資料館です」とアピールしながら、予算がなくても私に出来ることは、来館者に対する笑顔とおもてなしの心と言いつつも、毎日励みました。

この長い間、資料館勤務ができたのも周囲の方々とのつながりのおかげです。努力と反省と感謝を忘れてはいけなさと自負し、大好きな資料館とともに歩みたいと思います。

光ミュージアム

学芸員 今泉 珠実



光ミュージアムに勤務して20年、この度の功労者表彰は、これまで一緒に携わらせていただいた方々と共に頂戴したものと感謝しております。

開館後、いかに地元に着目した美術館・博物館になり得るか、専門家や通と言われる方ばかりではない来館者にいかに楽しんでいただけるか、腐心して参りました。展示の企画、展示方法、解説文の質や量、そして参加体験型の導入など、これまで積み上げてきた経験を今後更に活かしていきたいと考えております。

また、高山市内の小・中学校に歌川広重などの本物の浮世絵版画を持参して授業を行う「出張美術館」は、子供の頃に本物に触れられること、また版画の多色刷りを体験出来ることなどが好評を呼び、10年継続させていただいております。学校の先生方のご意見を反映させ、話の展開や体験用の版画作りにも工夫を重ねて参りましたが、こちらスキルアップに努め、今後も地元、そして社会に貢献させていただきたいと存じます。

第61回 全国博物館大会 岐阜大会

大会テーマ ▶ **博物館の可能性 - 新たな博物館像をめざして -**

2013年 11/7(木)、8(金)

会場 **じゅうろくプラザ**
岐阜市文化産業交流センター
(岐阜市橋本町1丁目10番11)

全国博物館大会のご案内

今回の全国博物館大会では、「日本博物館の育ての親」という存在である棚橋源太郎先生が追及した理想の博物館像の今日的意味をあらためて探ります。そして、今後博物館が社会においてどのような役割を担うことができるのか、また、担うべきなのか、その可能性について考えます。

メインテーマのもと、基調講演、シンポジウム及び分科会を通じて、博物館の現状を認識するとともに、課題を共有し、今後の博物館活動をよりよいものにしていくための方策を考える機会とします。

11/7(木)

10:30~17:10 開会式
 ●基調講演：「棚橋源太郎の見た夢
 - 博物館の未来を見据えて -」
 講師：明治大学 矢島國雄教授
 ●シンポジウム：「今求められている新たな博物館」
 司会：半田 昌之（日本博物館協会 専務理事）
 講師：徳川 義崇（徳川美術館 館長）
 榎本 徹（岐阜県現代陶芸美術館 館長）
 志賀 賢治（広島市平和記念資料館 館長）

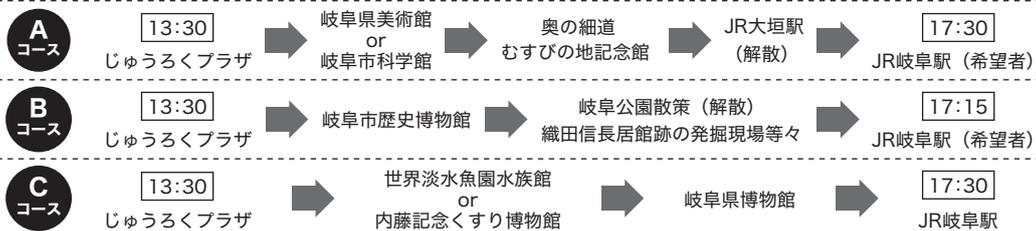
17:30~18:00 郷土芸能紹介（白鳥拝殿踊り）
 18:30~20:30 情報交換会

11/8(金)

9:00~13:00 分科会
 ①「学校教育と博物館」
 ②「観光と博物館」
 ③「高齢化する社会と博物館」

閉会式

13:30~17:30 施設見学（無料）
 ※各コースは現時点での予定です。



【会員参加費】（日本博物館協会 会員）
 大会 : 6,000円
 情報交換会 : 6,000円

【非会員参加費】
 大会 : 10,000円
 情報交換会 : 6,000円



第61回全国博物館大会に関する詳細については
(公財)日本博物館協会ホームページをご覧ください。

第81回 岐阜県博物館協会 会員研修会

テーマ：美術品の梱包
期 日：平成25年3月14日（木）
会 場：岐阜県現代陶芸美術館
参加者：46名

博物館等における学芸員の業務・役割は多岐に渡りますが、中でも「梱包」は美術品の運搬・保存等に際して学芸員に求められる最も基礎的な知識・技術のひとつです。

今回の研修会では、日本通運(株)の徳田英昌氏を講師にお招きし、美術品梱包の心構えから注意点、基礎知識等について、映像や実演を交えながらお話いただきました。

彫刻（仏像）、陶磁器などの立体梱包、絵画などの平面梱包の方法から梱包資材の解説など幅広い分野を対象とした貴重なお話でした。



当たり前のことではありますが、梱包方法や資材は常に進化し、変化を続けています。また、美術品の形状・保管状況・材質等により梱包方法・資材等はおのずと異なり、その選択の最終的な判断は学芸員に委ねられます。その瞬間に適切な判断が下せるよう、学芸員自身も常に進化し、変化を続ける必要があると感じました。

なお、研修会の案内文書にもありましたが、日本博物館協会から『博物館資料取扱いガイドブック』が刊行されています。研修会に参加された方もそうでない方も、是非一読されることをお勧めします。

（瑞浪市陶磁資料館 砂田普司）

公開講座のお知らせ （10月以降）

第137回 公開講座 「高山陣屋文書から学ぶ」

開催館 高山陣屋
高山市八軒町1-5
0577-32-0643

内 容 高山陣屋文書を読み解きながら、往時の高山陣屋が果たしてきた役割や、この文書から飛騨の人々の暮らしの一端を学びます。

期 日 9月29日（日）
10月27日（日）
11月24日（日）
12月15日（日）

第138回 公開講座 （講演会） 「薬として徳川幕府に 献上された魚の耳石」

開催館 内藤記念くすり博物館
各務原市川島竹早町1
0586-89-2101

内 容 江戸時代に生薬とされたニベの耳石（じせき）について、大江文雄先生を講師にお迎えしてお話しいただきます。

期 日 11月16日（土）

岐阜県博物館協会 加盟館一覧（岐阜地区・西濃地区）

平成25年9月15日現在

■ 岐阜地区

私	浅見化石会館	(058) 231-3997	
私	鶉の庵 鶉	(058) 232-2839	
私	円空美術館	(058) 266-4556	
県	岐阜県美術館	(058) 271-1313	HP
県	岐阜県歴史資料館	(058) 263-6678	HP
市	岐阜城資料館	(058) 263-4853	HP
市	岐阜市科学館	(058) 272-1333	HP
市	岐阜市歴史博物館	(058) 265-0010	HP
独	岐阜大学教育学部 郷土博物館	(058) 293-2223	
私	(財) 岐阜天文台	(058) 279-1353	HP
私	(公財) 三甲美術館	(058) 295-3535	HP
私	名和昆虫博物館	(058) 263-0038	HP
私	(公財) みつばちの家	(058) 294-2002	
私	(社福) 万灯会 お数珠館	(058) 392-3111	
私	羽島中観音堂・円空資料館	(058) 398-6264	
市	羽島市歴史民俗資料館・映画資料館	(058) 391-2234	HP
市	かかみがはら航空宇宙科学博物館	(058) 386-8500	HP
市	各務原市歴史民俗資料館	(058) 379-5055	HP
県	岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ	(0586) 89-8200	HP
私	内藤記念くすり博物館	(0586) 89-2101	HP
市	山県市歴史民俗資料館	(0581) 36-3339	HP
市	さくら資料館	(0581) 38-2410	
市	岐南町歴史民俗資料館	(058) 247-7737	
市	笠松町歴史民俗資料館	(058) 388-0161	HP

■ 西濃地区

市	大垣城	(0584) 74-7875	HP
市	大垣市奥の細道むすびの地記念館	(0584) 84-8430	HP
市	大垣市上石津郷土資料館	(0584) 45-3639	HP
市	大垣市郷土館	(0584) 75-1231	HP
市	大垣市金生山化石館	(0584) 71-0950	HP
市	大垣市守屋多々志美術館	(0584) 81-0801	HP
市	大垣市歴史民俗資料館	(0584) 91-5447	HP
私	OK Bギャラリーおおがき	0120-371543	HP
私	美濃民俗館宝光院宝物殿 十三間堂	(0584) 91-8326	
市	海津市歴史民俗資料館	(0584) 53-3232	HP
私	氷砂糖資料館	(0584) 57-2711	HP
市	養老町郷土資料館	(0584) 32-1281	
私	ひょうたん会館	(0584) 32-2500	
市	タルイピアセンター・歴史民俗資料館	(0584) 23-3746	HP
私	関ヶ原鍾乳洞	(0584) 43-0092	HP
市	関ヶ原町歴史民俗資料館	(0584) 43-2665	HP
私	片野記念館	(0584) 69-3570	HP
市	ハートピア安八	(0584) 63-1515	HP
市	揖斐川歴史民俗資料館	(0585) 22-5373	HP
市	大野町民俗資料館	(0585) 34-1111	HP

〔独〕：独立行政法人立 〔県〕：県立 〔市〕：市町村立 〔私〕：私立法法人立 HP：館紹介ホームページ有